

## 編集後記

「教員の視点から作られていた読んでもつまらない歯学部ニュースから、読者の大部分を占める学生や保護者へ向けた内容への転換を！」という神のお告げの中、無事にリニューアルを果たすことができたのか少々心配ではありますが、編集委員の皆様のおかげでスムーズに編集作業を終わらせることができました。

ご寄稿くださった皆様にもこの場をお借りして御礼申し上げます。

今号だけは、フリーペーパーのように学生控え室の前に山積みのまま捨てられていかないように祈ります。

今後は裏表紙にもありますように、学生さんの編集委員を大募集しますので、ぜひ歯学部ニュースを自分たちの手で創りたいという学生さんの皆さんが、本当の意味でのリニューアルを果たしてくれることを期待しています。

荒井 良明

編集委員の負担の大きさを想像しながら取り掛かった編集作業でしたが、編集委員長の効率のよい役割分担と的確な指示、そして原稿の遅れを想定して早めに締め切り日を設定したにも関わらず、迅速に対応していただいた執筆者の方々のおかげで気持ちよく職務を終えることが出来ました。「入学者のことば」「臨床実習を経験して」では、将来の夢に向かって希望で満ちあふれている様子が伝わってきて、刺激を受けました。

竹中 彰治

今回、(上品な)“おやしらず”が裏? テーマでした。ご存知ない方が今はもう多くなってしまいましたが、“おやしらず”とはかつて歯学部存在していた学内情報誌で、寄稿しておられる先生方の別の一面が垣間みれたり、上の学年の様子に進級の不安や安心が生じたり……。 “歯学部ニュース”が学生さん発信でそんな情報雑誌にもなったらいいなと思います。

ご多忙中にもかかわらずご寄稿くださった皆様にこの場をお借りしてあらためて御礼申し上げます。

金田 恒